

北海道新聞

2007年
8月28日 火

発行所
北海道新聞社
〒060-8711
札幌市中央区大通西3丁目6
電話 011-221-2111

読者センター
電話 011-210-5888

ホームページ
www.hokkaido-np.co.jp

©北海道新聞社 2007

道医療対策協議会が二
十七日に示した自治体病
院の再編素案では、根室
市が一市単独の区域とな
る一方、三力所で十市町
村以上にまたがる。

自治体病院再編素案の30区域

三十区域は次の通り
 (▼はサブ区域)。

①函館、北斗、七飯、
 鹿部、森、奥尻▼松前、
 福島、知内、木古内②江
 差、上ノ国、厚沢部、乙
 部③せたな、今金、八雲、
 二七コ、真狩、留寿都、
 ⑦小樽、積丹、古平、仁
 木、余市、赤井川⑧島牧、
 寿都、共和、岩内、泊、
 神恵内⑨黒松内、蘭越、
 ⑬室蘭、登別⑭伊達、豊
 浦、壮瞥、洞爺湖⑮苫小
 牧、白老、厚真、安平、
 むかわ、日高、平取⑯新
 留萌、増毛、小平⑰網走、
 富良野、占冠⑱苫前、羽
 幌、初山別、遠別⑲稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士⑳
 留萌、増毛、小平㉑網走、
 富良野、占冠㉒苫前、羽
 幌、初山別、遠別㉓稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㉔
 留萌、増毛、小平㉕網走、
 富良野、占冠㉖苫前、羽
 幌、初山別、遠別㉗稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㉘
 留萌、増毛、小平㉙網走、
 富良野、占冠㉚苫前、羽
 幌、初山別、遠別㉛稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㉜
 留萌、増毛、小平㉝網走、
 富良野、占冠㉞苫前、羽
 幌、初山別、遠別㉟稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊱
 留萌、増毛、小平㊲網走、
 富良野、占冠㊳苫前、羽
 幌、初山別、遠別㊴稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊵
 留萌、増毛、小平㊶網走、
 富良野、占冠㊷苫前、羽
 幌、初山別、遠別㊸稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊹
 留萌、増毛、小平㊺網走、
 富良野、占冠㊻苫前、羽
 幌、初山別、遠別㊼稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊽
 留萌、増毛、小平㊾網走、
 富良野、占冠㊿苫前、羽
 幌、初山別、遠別

長万部④札幌、江別、石
 狩、北広島、当別、新篠
 津、南幌⑤石狩、三笠、
 美唄、夕張、長沼、栗山、
 月形、由仁⑥千歳、恵庭
 冠、新ひだか、浦河、様
 似、えりも⑦旭川、鷹栖、
 東神楽、当麻、比布、愛
 別、上川、東川、美瑛⑧
 名寄、下川、美深、音威
 子府、中川、西興部⑨士
 別、和寒、剣淵▼浜頓別、
 中頓別、枝幸⑩富良野、
 上富良野、中富良野、南
 富良野、占冠⑪苫前、羽
 幌、初山別、遠別⑫稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士⑬
 留萌、増毛、小平⑭網走、
 富良野、占冠⑮苫前、羽
 幌、初山別、遠別⑯稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士⑰
 留萌、増毛、小平⑱網走、
 富良野、占冠⑲苫前、羽
 幌、初山別、遠別⑳稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㉑
 留萌、増毛、小平㉒網走、
 富良野、占冠㉓苫前、羽
 幌、初山別、遠別㉔稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㉕
 留萌、増毛、小平㉖網走、
 富良野、占冠㉗苫前、羽
 幌、初山別、遠別㉘稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㉙
 留萌、増毛、小平㉚網走、
 富良野、占冠㉛苫前、羽
 幌、初山別、遠別㉜稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㉝
 留萌、増毛、小平㉞網走、
 富良野、占冠㉟苫前、羽
 幌、初山別、遠別㊱稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊲
 留萌、増毛、小平㊳網走、
 富良野、占冠㊴苫前、羽
 幌、初山別、遠別㊵稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊶
 留萌、増毛、小平㊷網走、
 富良野、占冠㊸苫前、羽
 幌、初山別、遠別㊹稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊺
 留萌、増毛、小平㊻網走、
 富良野、占冠㊼苫前、羽
 幌、初山別、遠別㊽稚内、
 天塩、幌延、猿払、豊富、
 礼文、利尻、利尻富士㊾
 留萌、増毛、小平㊿網走、
 富良野、占冠

再編区域分け公表 道医療対策協 素案ほぼ了承

赤字が深刻化している自治体病院の広域化・連携構想を検討している道医療対策協議会(会長・高橋はるみ知事)は二十七日、分科会を開き、道内の自治体病院を三十の区域に分ける再編素案について、初めて各自治体の区域分けを公表した。

(関連記事4面に)

構想は、赤字経営に苦しむ自治体病院を区域ごとにも再編して医師や設備を集約。それ以外の自治体病院を初期診療を行う診療所などに再編するの狙い。

道が示した再編素案は、各病院の患者の通院動向などを勘案の上、二百床程度の中核病院が含まれることや飛び地にならないことを条件に、全道百八十市町村を区域分けした。

この結果、十勝管内で十八市町村を抱える区域ができた一方、根室市は一市単独となるなど、大きなばらつきが出た。

また、渡島、上川、宗谷

十勝の三地方では、中核病院までの移動時間が最長で二時間程度かかる格好となったため、より細分化したサブ区域「六カ所」を設定した。

分科会では「再編の意義は分かるが実際に患者が通える区域割りなのか」「再編しても財政的に運営できる地域と、そうでない地域が出てくる」などの意見が出たが、道の再編素案をおおむね了承した。

道は自治体病院連携構想は、各自治体で議論をするための提案で、強制力はないとしている。来月の分科会で素案を固めたうえで、各自治体などで意見を聞いて年内に構想を策定したい考え。